

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 室戸市立 吉良川小学校		校長	小松 良浩	教員数	13	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計						
		道徳教育推進教師	谷内 佳子	13	12		2	8	1	11	1	11	1	13	2	6	1	61	8						
研究テーマ		思いや考えを表現し認め合い、学び合う児童の育成 ～「考え、議論する道徳」の授業実践を通して～																							
年度当初の学校の状況(5月調査を記載)		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(2月)		到達目標達成状況											
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答(強い肯定的回答)の割合の向上												現状		肯定%							
①道徳の勉強は、すきだ		88.3%		①「道徳の勉強は、すきだ」93%												①									
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		88.3%		②「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」93%												②									
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている		58.3%		③「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む 高知の道徳』を読んだりしている」63%												③									
④自分には、よいところがあると思う		81.7%		④「自分には、よいところがあると思う」86%												④									
⑤将来の夢や目標をもっている		91.7%		⑤「将来の夢や目標をもっている」94%(強い肯定73%)												⑤									
⑥人が困っているときは、進んで助けている		90.0%		⑥「人が困っているときは、進んで助けている」93%(強い肯定53%)												⑥									
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		90.0%		⑦「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」93%(強い肯定65%)												⑦									
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)																		指標達成状況の分析					
取組項目		取組の評価指標				5月～8月				中間評価		9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)						達成状況		年度末評価					
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実		◆研究推進委員会をもって、進捗管理を行う。(毎月1回以上) ◆各学年の年間指導計画、別業に基づく取り組みの検証(3回以上)				①道徳教育の全体計画(別業)、各学年の道徳科の年間指導計画の作成(4月→6月に提出) ②講師招聘研修「指導計画の見直しで考える『特別の教科 道徳』(5月) ③授業者と推進教師が、事前研→授業実施→事後研のサイクルにおいて打ち合わせする時間の確保。 ④児童の意識調査結果の協議・取組策の検討(研究推進委員会) ⑤道徳教育指導者養成研修への参加(8月、1名)						①全体計画(別業)、年間指導計画の実質化 ・道徳科の内容と各教科等との関連について検証 ・道徳科の年間指導計画の評価欄への記入(随時) ②管理職または推進教師による全道徳科の授業参観、指導・評価 ③授業者と推進教師による事前研→授業実施→事後研のサイクル化と授業の質の向上 ④児童の意識調査結果の検証・改善策の検討(研究推進委員会) ⑤道徳教育指導者養成研修の報告をし、効果的な取組を共有													
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究		◆道徳授業チェック【教師用】【児童用】を3.5以上にする。 ◆授業研においては、他校にも案内をし、授業についての意見をもらう。				①講師招聘研修「『み・か・ん』でつくる道徳科の授業」(6月) ②授業研究(指導案検討3回、授業研1回、講師招聘)(6、7、8月) ③道徳授業チェックシート(全教師、全児童)の結果及び個人内評価にかかる協議・授業改善策の検討 ④学習指導案、教具、板書写真、ワークシート等の整理・保管 ⑤他校(指定校)の公開授業への参加						①研究授業(授業研5回、指導案検討1回、講師招聘)(9、10、11、12月) ②道徳授業チェックシートの結果及び個人内評価にかかる協議・授業改善策の検討 ③学習指導案、教具、板書写真、ワークシート等の整理・保管 ④他校(指定校)の公開授業への参加													
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究		◆評価の仕方を共有する。(学期1回) ◆学期末の個人懇談で、学習状況や道徳性にかかる成長の様子を保護者に伝える。				①講師招聘研修「『読む道徳』から『考え、議論する道徳』へ」(5月) ②道徳ノートを活用して、学習状況や道徳性にかかる成長の様子を把握→ブロック会で評価について検討 ③評価の仕方を校内で共有→学期末の個人懇談で保護者に伝える。						①道徳ノートを活用して、学習状況や道徳性にかかる成長の様子を把握→ブロック会で評価について検討 ②評価の仕方を校内で共有→学期末の個人懇談で保護者に伝える。													
家庭・地域と連携した道徳教育の推進		◆全学級公開による道徳参観日を実施し、保護者参加率を60%以上にする。 ◆学校だよりや道徳だよりで『高知の道徳』の内容や取組・成果について発信する。(毎月1回以上)				①参観日に『高知の道徳』を活用した懇談会の実施(各学年)・『高知の道徳』にかかる家庭の取組を紹介 ②毎月の便りに、授業の様子や『高知の道徳』の内容を紹介・啓発						①全学級公開による道徳参観日の実施(2月) ・『高知の道徳』にかかる家庭の取組を紹介 ②毎月の便りに、授業の様子や『高知の道徳』の内容を紹介・啓発													

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)